

近畿厚生局長 殿

開設者名 学校法人 近畿大  
理事長 世耕 弘

印

近畿大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	63人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	412人	109人	430.5人	看護補助者	118人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	7人	10人	7.9人	理学療法士	13人	臨床検査技師	92人
薬剤師	59人	3人	60.5人	作業療法士	3人	臨床衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助産師	30人	0人	30.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	820人	24人	838.2人	臨床工学技士	15人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄養士	0人	その他の技術員	43人
歯科衛生士	4人	2人	5.4人	歯科技工士	2人	事務職員	403人
管理栄養士	9人	2人	11.0人	診療放射線技師	49人	その他の職員	10人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	710.2人	4.5人	714.7人
1日当たり平均外来患者数	2,041.5人	89.2人	2,130.7人
1日当たり平均調剤数	4,271.07剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

近畿厚生局  
等100J  
第36

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	66人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	4人
パクリタキセル腹腔内反復投与療法 胃切除後の進行性胃がん(腹膜に転移しているもの、腹腔洗浄細胞診が陽性であるもの又はステージII若しくはIIIであって肉眼型分類が3型(長径が八センチメートル以上のものに限る。)若しくは4型であるものに限る。)	0人
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びペバシズマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る。)並びにペバシズマブ静脈内投与(三週間に一回投与するものに限る。)による維持療法 再発卵巣がん、	0人
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	1人
十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテーラーメイドのがんワクチン療法、ホルモン不応性再燃前立腺がん(ドセタキセルの投与が困難な者であって、HLA-A24が陽性であるものに限る。)	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	歯根部利用人工角膜手術(OOKP)	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 スチーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡などの重症の眼表面疾患において角膜が高度に混濁して視力不良にいたることがしばしばある。このような症例の場合、通常の角膜移植の成功率は低く、長期の視力改善は望めない。歯根部利用人工角膜手術(Osteo-odonto-keratoprosthesis:OOKP)はこのような症例の視力回復の最後の手段と言える方法である。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	59人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	50人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・重症筋無力症	51人	・原発性胆汁性肝硬変	34人
・全身性エリテマトーデス	205人	・重症急性膵炎	12人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	34人
・再生不良性貧血	31人	・混合性結合組織病	35人
・サルコイドーシス	66人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	31人	・特発性間質性肺炎	29人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	178人	・網膜色素変性症	64人
・特発性血小板減少性紫斑病	62人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	28人	・肺動脈性肺高血圧症	8人
・潰瘍性大腸炎	152人	・神経線維腫症	18人
・大動脈炎症候群	20人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	13人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	14人	・慢性血栓性肺高血圧症	6人
・脊髄小脳変性症	18人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	32人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	14人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	237人	・球脊髄性筋萎縮症	3人
・アミロイドーシス	2人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	24人
・後縦靭帯骨化症	40人	・肥大型心筋症	4人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	12人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	5人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	43人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	19人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	49人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腋窩リンパ節郭清術の実施前におけるセンチネルリンパ節の同定及び生検	・
・強度変調放射線治療	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

②「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	20回 / 1年
部 検 の 状 況	部検症例数 53 例 / 部検率 8.15%

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
緑内障、黄斑疾患に対する新しい視野計の開発	松本 長太	眼科	650,000	補 文部省科学研究 委 費補助金
医学研究助成 緑内障診断における新たな視野検査測定方法の検討	野本 裕貴	眼科	1,000,000	補 大阪難病研究財 委 団
線溶系因子ノックアウトマウスにおける角膜創傷治癒過程の検討	杉岡 孝二	眼科	421,000	補 財団法人大阪ア 委 イバンク
urokinase-type plasminogen activator (u-PA) およびu-PA receptor (u-PAR) 遺伝子欠損マウスにおける角膜上皮創傷治癒過程の検討	児玉 彩	眼科	200,000	補 大阪眼衛生協会 委
特発性造血障害に関する調査研究	松村 到	血液・ 膠原病内科	900,000	補 厚生労働科学研 委 究費補助金難治 性疾患克服研究
難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究	松村 到	血液・ 膠原病内科	800,000	補 厚生労働科学研 委 究費補助金がん 臨床事業
4倍体胚補完法による白血病原因遺伝子のON, OFF可能なマウスの作成と解析	松村 到	血液・ 膠原病内科	1,100,000	補 独立行政法人 委 日本学術振興会
CML幹細胞における細胞周期解析と新治療法開発に向けた研究	松村 到	血液・ 膠原病内科	5,900,000	補 独立行政法人 委 日本学術振興会
障害者対策総合研究事業（神経・筋疾患分野）	研究代表者 楠 進	神経内科	9,175,000	補 厚生労働科学研 委 究費補助金（障 害者対策総合研
免疫性神経疾患に関する調査研究	研究代表者 楠 進	神経内科	29,100,000	補 厚生労働科学研 委 究費補助金（難 治性疾患等克服
スモンに関する調査研究班	研究分担者 楠 進	神経内科	500,000	補 厚生労働科学研 委 究費補助金（難 治性疾患等克服
ピッカースタッフ型脳幹脳炎の診断及び治療方法の更なる推進に関する研究	研究分担者 楠 進	神経内科	1,800,000	補 厚生労働科学研 委 究費補助金（難 治性疾患等克服
臨床疫学調査結果・新規免疫検査結果に基づくアトピー性背髄炎の新規診断基準作成とその国内外での臨床応用	研究分担者 楠 進	神経内科	700,000	補 厚生労働科学研 委 究費補助金（難 治性疾患等克服
肥厚性硬膜炎の診断基準とそれに基づいた臨床疫学調査の実施ならびに診療指針の確立	研究分担者 楠 進	神経内科	350,000	補 厚生労働科学研 委 究費補助金（難 治性疾患等克服
精神・神経疾患研究開発事業 国立精神・神経センター 神経研究所 免疫研究部長 山村 隆	研究分担者 楠 進	神経内科	600,000	補 国立精神・神経 委 医療研究セン ター
治験の実施に関する研究[サリドマイド]	研究代表者 楠 進	神経内科	1,000,000	補 社団法人 日本 委 医師会治験促進 センター
抗ガングリオシド抗体による神経細胞障害機序の解析：細胞内シグナル伝達への作用	研究代表者 楠 進	神経内科	4,990,000	補 文部科学省・ 委 学術振興会 科学研究費補助 金（基盤B）
網羅的自己抗体プロファイリング法に基づく免疫性神経疾患の病態解明と治療戦略の構築	研究分担者 楠 進	神経内科	1,500,000	補 文部科学省・ 委 学術振興会 科学研究費補助 金（基盤A）

小計

(様式第11)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
糖鎖転移酵素遺伝子群と視交叉上核における概日リズム発現変動について	研究代表者 西郷和真	神経内科	600,000	補委 文部科学省・ 学術振興会 科学研究費補助 金(基盤C)
神経変性疾患原因蛋白の相互作用、翻訳後修飾、細胞内局在の検討と治療的応用	研究代表者 平野牧人	神経内科	1,300,000	補委 文部科学省・ 学術振興会 科学研究費補助 金(基盤C)
(課題番号 22791148) 児童期の注意欠陥多動性障害患者の脳機能評価	辻井 農亜	精神神経科学	500,000	補委 文部科学省科学 研究費補助金 (若手B)
(課題番号 H22-精神-指定-022) 自殺対策のための複合的介入法の開発に関する研究	白川 治	精神神経科学	200,000	補委 厚生労働科学研 究費補助金(障 害者対策複合研 究事業)
ヒトとマウスの相同性を駆使した1型糖尿病遺伝子の同定ならびに機能解析	池上博司	内分泌・代謝・糖尿病 内科	650,000	補委 日本学術振興会 平成23科学研究費 補助金(基盤C)
主要組織適合遺伝子複合大領域の1型糖尿病遺伝子の同定と機能解析	川畑由美子	内分泌・代謝・糖尿病 内科	3,377,293	補委 日本学術振興会 平成23科学研究費 補助金(基盤C)
1型糖尿病の組織特異的発症機序に関わる遺伝基盤の解明と発症予防・治療への応用	能宗伸輔	内分泌・代謝・糖尿病 内科	2,858,276	補委 日本学術振興会 平成23科学研究費 補助金(基盤C)
1型糖尿病発症メカニズム解明と発症予知システムの構築	馬場谷成	内分泌・代謝・糖尿病 内科	1,000,000	補委 平成23年 医学研 究助成 大阪難病 研究財団
胃細胞癌に対するテーラーメイド癌ワクチン療法の開発	植村 天受	泌尿器科	7,930,000	補委 科学研究費補助 金 基盤研究 委 (B)
前立腺癌患者に対する癌ワクチン療法に応用できる腫瘍関連抗原由来ペプチドの同定	南 高文	泌尿器科	500,000	補委 科学研究費補助 金 若手研究 委 (B)
去勢抵抗性前立腺がんに対する新規がんペプチドワクチン療法開発のための第Ⅰ相・第Ⅱ相(前半)臨床試験	植村 天受	泌尿器科	1,000,000	補委 厚生労働科学研 究費補助金
頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	西村恭昌	放射線腫瘍学	15,000,000	補委 厚生労働省：が ん臨床
分子イメージングに基づく次世代放射線療法の開発	西村恭昌	放射線腫瘍学	1,300,000	補委 文部科学省：基 盤研究C
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立と適応決定に関する研究	西村恭昌	放射線腫瘍学	350,000	補委 文部科学省：基 盤研究A
放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究	西村恭昌	放射線腫瘍学	500,000	補委 厚生労働省：が ん研究開発費
レビー小体型認知症におけるアミロイド沈着、糖代謝病態解明	石井一成	放射線診断 学部門	5,000,000	補委 文部科学研究費 補助金
PET、MRIを用いた画像統合解析による変性性認知症の病態解明ならびに早期診断法の開発	石井一成	放射線診断 学部門	8,440,000	補委 21世紀研究開発 奨励金
医療用X線防御材料の軽量化	村上卓道	放射線診断 学部門	1,700,000	補委 独立行政法人科 学技術振興機構
高血糖の脳虚血白質傷害における最終糖化産物受容体の関与とその治療に関する研究	中尾慎一	麻酔科学	700,000	補委 文部科学省 科学研究費補 助金

小計  
19



## (様式第11)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高血糖の全脳虚血（心配停止・蘇生後）に対する影響と対策	岩元辰篤	麻酔科学	1,000,000	補委 大阪難病研究財団医学研究助成金
酸化ストレス制御転写因子を標的とした脂肪肝炎の発症機構の解明と食品成分による予防	田中裕滋	臨床検査医学	1,170,000	補委 科学研究費（基盤研究C）
遠隔脳卒中診断システムの基盤構築のための検討	大槻俊輔	脳卒中センター	2,210,000	補委 日本学術振興会
一過性脳虚血発作の診断基準の再検討、ならびにわが国の医療環境に即した適切な診断治療システムの確立に関する研究	大槻俊輔	脳卒中センター	2,400,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
保健指導を中心とした地域における脳卒中および心筋梗塞の再発予防システムとエビデンス構築に関する研究	大槻俊輔	脳卒中センター	2,200,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
動脈硬化の多角的評価による脳卒中個別化治療開発に関する研究	大槻俊輔	脳卒中センター	1,500,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
ヒト皮質脳波信号処理に基づく運動・言語の高次脳機能発現メカニズムの研究	加藤天美	医学部脳神経外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
バイオメディカルフォトニックLSIの創成：機能的脳疾患医療応用の検討	加藤天美	医学部脳神経外科	10,088,000	補委 科学技術振興機構
てんかんの有病率等に関する疫学研究及び診療実態の分析と治療体制の整備に関する研究	加藤天美	医学部脳神経外科	500,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
RFIDタグを用いた手術器具識別システム	加藤天美	医学部脳神経外科	2,500,000	補委 科学技術振興機構
パーキンソン病に対する皮質脳波フィードバック型脳深部刺激の開発	中野直樹	医学部脳神経外科	650,000	補委 日本学術振興会
効果的な複合免疫療法の確立	奥野清隆	外科下部消化管	2,727,273	補委 文部科学省
ハイブリットロングペプチドを用いた革新的次世代がん治療用ワクチンの開発とその臨床効果	奥野清隆	外科下部消化管	2,900,000	補委 厚生労働省
難治性膵疾患に関する調査研究	竹山宜典	外科肝胆膵	1,000,000	補委 厚生労働省
非治療因子を有する進行胃癌に対する胃原発巣切除の意義に関する国際共同研究	辻中利政（今本治彦）	外科内視鏡	700,000	補委 （辻仲班）厚生労働省
サブスタンスPの分泌制御による食道癌術後の誤嚥性肺炎の予防と嚥下機能改善	安田卓司	外科上部消化管	1,560,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肝細胞癌に対するペプチドワクチンカクテル療法	石川原	外科肝胆膵	1,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
酸化LDL/LOX-1系の軟骨変性への関与	赤木将男	整形外科	1,170,000	補委 文部省科学研究費補助金
白斑の診断基準および治療指針の確立（難治性疾患克服研究事業）	大磯直毅	皮膚科	700,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
色白遺伝子（MC1RとP遺伝子）の多型と皮膚癌発症との関連	大磯直毅	皮膚科	520,000	補委 科学研究費補助金

小計  
20

## (様式第11)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遺伝性ポルフィリン症の全国疫学調査ならびに診断・治療法の開発に関する研究(難治性疾患克服研究事業)	川田 暁	皮膚科	6,500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
NADPHオキシダー新規制御因子Poldip2の腎病態生理における役割の解明	谷山 佳弘	腎臓内科	1,170,000	補委 独立行政法人日本学術振興会科学研究費
腎系球体血行動態調節機構の加齢性変化:腎臓の老化における(病態)生理学的意義	中谷 嘉寿	腎臓内科	1,800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会科学研究費
進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的薬併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(Phase III)ならびに効果を予測するbiomarkerの探索研究	工藤正俊	消化器内科	32,500,000	補委 厚生労働省
慢性ウイルス性肝疾患の非侵襲的線維化評価法の開発と臨床的有用性の確立	工藤正俊	消化器内科	58,500,000	補委 厚生労働省
慢性ウイルス性肝疾患の非侵襲的線維化評価法の開発と臨床的有用性の確立	工藤正俊	消化器内科	1,500,000	補委 厚生労働省
肝がんの新規治療法に関する研究	工藤正俊	消化器内科	2,000,000	補委 厚生労働省
血小板低値例に対するIFN治療の他施設研究 造影超音波による摘脾後の肝血流の評価	工藤正俊	消化器内科	800,000	補委 厚生労働省
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する他施設共同研究	工藤正俊	消化器内科	150,000	補委 厚生労働省
肝細胞癌の発癌・進展の分子機序:造影超音波クーパー相と遺伝子発現を用いた融合解析	工藤正俊	消化器内科	1,800,000	補委 文部科学省
肝細胞癌における血清中メチル化DNAを用いた腫瘍ダイナミクスの推定と臨床応用	西田 直生志	消化器内科	1,000,000	補委 文部科学省
超音波内視鏡を用いた胆膵疾患診断・治療システムの開発	北野 雅之	消化器内科	1,100,000	補委 文部科学省
ガンキリンのプロテアソーム制御機構を利用した展開医療研究	櫻井 俊治	消化器内科	1,600,000	補委 文部科学省
多能性幹細胞からの間葉系幹細胞の分化誘導と評価	寺村 岳士	高度先端総合医療センター再生医療部	2,210,000円	補委 文部省科学研究費補助金
哺乳類ES細胞からの半数体生殖細胞の誘導	竹原 俊幸	高度先端総合医療センター再生医療部	1,690,000円	補委 文部省科学研究費補助金
人工多能性幹(iPS)細胞由来スキャフォールドフリー三次元人工組織による骨軟骨再生-有効性と安全性における間葉系幹細胞との比較検討-	中村 憲正 寺村 岳士 (分担)	高度先端総合医療センター再生医療部	100,000円	補委 文部省科学研究費補助金
ES細胞/iPS細胞を用いた関節軟骨損傷に対する再生医療の基礎的研究	寺村 岳士	高度先端総合医療センター再生医療部	420,000円	補委 学内研究助成
マンモスおよび希少動物の再生に向けて:異種間核移植法とiPS細胞を介した配偶子作成法の確立	加藤 博己 竹原 俊幸 (分担)	高度先端総合医療センター再生医療部	500,000円	補委 学内研究助成

小計

18

## (様式第11)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
抗がん剤治療効果に対する実測可能な薬理学的効果予測システムORPSの開発	中川和彦	腫瘍内科	19,500,000	補 厚生労働省 委
限局型小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	中川和彦	腫瘍内科	200,000	補 厚生労働省 委
呼吸器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	中川和彦	腫瘍内科	900,000	補 厚生労働省 委
再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究	中川和彦	腫瘍内科	900,000	補 厚生労働省 委
ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) を用いた悪性胸膜中皮腫に対する効果的治療法の開発研究	中川和彦	腫瘍内科	3,000,000	補 厚生労働省 委
EML4-ALK陽性肺癌におけるシグナル伝達経路の解析	中川和彦	腫瘍内科	100,000	補 文部科学省 委
EGFRチロシンキナーゼ阻害剤によるアポトーシスにおけるサバイビンの役割	中川和彦	腫瘍内科	100,000	補 文部科学省 委
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	岡本 勇	腫瘍内科	3,000,000	補 厚生労働省 委
進展型小細胞肺癌に対する予防的全脳照射のランダム化比較第Ⅲ相試験	岡本 勇	腫瘍内科	400,000	補 厚生労働省 委
EGFRチロシンキナーゼ阻害剤獲得耐性の分子メカニズムに基づいた耐性克服研究	岡本 勇	腫瘍内科	600,000	補 文部科学省 委
EML4-ALK陽性肺癌におけるシグナル伝達経路の解析	岡本 勇	腫瘍内科	100,000	補 文部科学省 委
EGFRチロシンキナーゼ阻害剤によるアポトーシスにおけるサバイビンの役割	岡本 勇	腫瘍内科	100,000	補 文部科学省 委
呼吸器悪性腫瘍患者の安全かつ適正な外来化学療法管理システムに関する研究	藤 阪 保 人	腫瘍内科	800,000	補 厚生労働省 委
EML4-ALK陽性肺癌におけるシグナル伝達経路の解析	宮 崎 昌 樹	腫瘍内科	2,300,000	補 文部科学省 委
EGFRチロシンキナーゼ阻害剤によるアポトーシスにおけるサバイビンの役割	岡本 邦 男	腫瘍内科	2,300,000	補 文部科学省 委
				補 委

小計  
15  
計  
90

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
眼科臨床紀要	内科的治療で比較的良好な経過を辿った内因性眼内炎の一例	児玉 彩, 杉岡 孝二, 櫻本 宏之, 松本 長太, 下村 嘉一	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science	TGF- $\beta$ induces sustained regulation of SNAIL1 and SNAIL2 through Smad and non-Smad pathways in a cell line	Aomatsu K, Arao T, Sugioka K, Matsumoto K, Tamura D.	眼科
眼科臨床紀要	極および超低出生体重児の未熟児網膜症の検討	菅澤 真梨子, 國吉 一樹, 杉岡 孝二, 辻岡 大志, 阿部 考助,	眼科
眼科臨床紀要	左右差の著しい網膜変性の長期経過	櫻本 宏之, 国吉 一樹, 吹山 豊, 中尾 彰, 岡崎 能久,	眼科
眼科臨床紀要	最近経験した眼底が正常な網膜機能障害の3例	櫻本 宏之, 國吉 一樹, 中尾 彰, 楢垣 史郎, 日比野 剛,	眼科
あたらしい眼科	感受性期間以降に弱視眼視力の再低下に対して治療を行った不同視弱視の1例	村上 純子, 村田 恭子, 阿部 考助, 下村 嘉一	眼科
Cornea	Utility of real-time polymerase chain reaction in diagnosing and treating acanthamoeba keratitis	Itahashi M, Higaki S, Fukuda M, Mishima H, Shimomura Y	眼科
日本視能訓練士協会誌	〔第51回日本視能矯正学会 特別講演2〕 両眼加重の働きと影響因子—なぜヒトは2つの眼があるのか—	若山 咲美, 松本 長太, 大牟禮 和代, 松本 富美子, 阿部 考助,	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Influence of Background Complexity on Visual Sensitivity and Binocular Summation Using Patterns with and without Noise	Wakayama A, Matsumoto C, Ohmure K, Inase M, Shimomura Y	眼科
PEPARS	骨 膜 と 生 体 吸 収 性 材 料 に よ る 骨 再 生	朝村真一	形成外科
治療	再 生 軟 骨 に よ る 耳 介 再 建	伊谷善仁	形成外科
PEPARS	頭 蓋 顔 面 手 術 の エ キ ス パ ー ト と し て の こ だ わ り	諸富公昭	形成外科
Comprehensive Biomaterials (541-546)	Finger: Phalangeal regeneration using an osteo-inductive biodegradable poly(L-lactide- $\epsilon$ -caprolactone) copolymer with hydroxyapatite	磯貝典孝	形成外科
標準形成外科学第6版	骨 移 植 術	磯貝典孝	形成外科
ものづくり技術からみる再生医療—細胞研究・創薬・治療—	足場材料による骨欠損再生—眼窩下壁骨折に試用したバイオマテリアルの骨形成能とその長期成績—	磯貝典孝	形成外科
Journal of Hand Surgery (Eur Vol)	Randomized controlled trial of the application of topical b-FGF-impregnated gelatin microspheres to improve tissue survival in subzone II fingertip amputations	楠原廣久	形成外科
Oral Med Pathol	The frontal-zygomatic approach vs. the anterior approach for orbital tumor surgery : a retrospective review of the indications and outcomes	朝村真一	形成外科
Cells, Tissues, Organs	The Nature and Role of Periosteum in Bone and Cartilage Regeneration	松島聖夏	形成外科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Oral & Craniofacial Tissue Engineering	Tissue engineering of the ear: Effect of local environment, fibrin, and basic FGF incorporation on a canine autologous model	磯貝典孝	形成外科
Leukemia Research	Predictability of the response to tyrosine kinase inhibitors via in vitro analysis of Bcr-Abl phosphorylation	松村 到	血液・膠原病内科
血液内科	高齢者AMLに対する高用量レナリドミドの効果	松村 到	血液・膠原病内科
骨髄異形成症候群(MDS)のマネジメント	ハイリスクMDSに対する化学療法	森田泰慶・松村 到	血液・膠原病内科
診断と治療	白血球増加症	平瀬主税・松村 到	血液・膠原病内科
検査と技術	特発性好酸球増加症候群	嶋田高広・松村 到	血液・膠原病内科
臨床血液	CMLに対する第二世代チロシンキナーゼ阻害薬	松村 到	血液・膠原病内科
血管新生阻害薬のベストマネジメント 療治療と副作用対策	ニロチニブ	松村 到	血液・膠原病内科
今日の治療指針	慢性骨髄性白血病	松村 到	血液・膠原病内科
血液フロンティア	慢性骨髄性白血病	田中宏和・松村 到	血液・膠原病内科
腫瘍内科	ニロチニブの最適な用量	田中宏和・松村 到	血液・膠原病内科
Int. J. Hematol	Analysis of bacteremia/fungemia and pneumonia accompanying acute myelogenous leukemia from 1987 to 2001 in the Japan Adult Leukemia Study Group	宮武淳一	血液・膠原病内科
INTERNAL MEDICINE	A Case of Chronic Myelomonocytic leukemia Who Developed Pericardial Effusion during Stably Controlled Leukocytosis	森田泰慶・松村 到	血液・膠原病内科
Acta Med Kinki Univ.	Recognition of complete response by long-term observation after treatment with 90Y-ibritumomab tiuxetan for relapsed follicular lymphoma	辰巳陽一・松村 到	血液・膠原病内科
Int J Hematol.	Cytokine profiles in relapsed multiple myeloma patients undergoing febrile reactions to lenalidomide.	森田泰慶・松村 到	血液・膠原病内科
骨髄異形成症候群(MDS)診療up-to-date	鉄キレート療法	辰巳陽一	血液・膠原病内科
PLoS ONE	The Clathrin assembly Protein PICALM is Required for Erythroid Maturation and Transferrin Internalization in Mice	田中宏和・萩 晋也・松村 到	血液・膠原病内科
Acta Med. Kinki Univ.	Antimicrobials for the treatment of febrile neutropenia clinical usefulness of antimicrobial cycling	辰巳陽一・松村 到	血液・膠原病内科
Histopathology	Tumor-associated macrophages in diffuse large B cell lymphoma: a study of the Osaka Lymphoma Study Group	辰巳陽一	血液・膠原病内科

小計

## (様式第11)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Biochem Biophys Res Commun	NAD-dependent histone deacetylase, SIRT1, plays essential roles in the maintenance of hematopoietic stem cells.	松村 到	血液・膠原病内科
Australas J Dermatol	Localised giant haematoma and subsequent widespread purpura as a sign of acquired haemophilia A.	大磯直毅・松村 到	血液・膠原病内科
Case Rep Dermatol	Cellulitis with leukocytopenia as an initial sign of acute promyelocytic leukemia.	坂本幸子・松村 到	血液・膠原病内科
Leukemia	C-terminal mutation of RUNX1 attenuates the DNA-damage repair response in hematopoietic stem cells.	松村 到	血液・膠原病内科
Eur J Dermatol	Superimposed linear graft-versus-host disease and secondary cutaneous involvement of anaplastic large cell lymphoma.	大磯直毅・松村 到	血液・膠原病内科
Biochem Biophys Res Commun	PIGOT is a molecule which binds to anamorsin.	松村 到	血液・膠原病内科
J Hematol Oncol.	Frequency of intravascular large B-cell lymphoma in Japan: study of the Osaka Lymphoma Study Group.	松村 到	血液・膠原病内科
Immunol Lett.	Myeloid neoplasm-related gene abnormalities differentially affect dendritic cell differentiation from murine hematopoietic stem/progenitor cells.	松村 到	血液・膠原病内科
Data Mining in Genomics & Proteomics	New Therapeutic Approach of Retinoids for Lupus Nephritis	Yuji Nozaki	血液・膠原病内科
日本臨床免疫学会誌	レチノイン酸によるループス腎炎の治療	木下 浩二	血液・膠原病内科
Kidney International	Endogenous Tim-1 promotes T cell responses and cell mediated injury in experimental crescentic glomerulonephritis.	Nozaki Y	血液・膠原病内科
Am J Physiol Renal Physiol.	Tim-1 promotes cisplatin nephrotoxicity	Nozaki Y	血液・膠原病内科
J Hum Genet	Chondroitin beta-1,4-N-acetylgalactosaminyltransferase-1 (ChGa-1) missense mutations are associated with neuropathies.	Saigoh Kazuma	神経内科
Muscle Nerve	Acute superficial sensory neuropathy with generalized anhidrosis, anosmia, and ageusia.	Kusunoki Susumu	神経内科
Clinical Medical Insights Case Reports	Abnormal cystatin C levels in two patients with bardet-biedl syndrome.	Hirano Makito	神経内科
BMJ Case Reports	Subacute motor axonal neuropathy associated with the IgG anti-GalNAc-6S antibody.	Kusunoki Susumu	神経内科
Brain Dev	A case of anti-GA1 antibody-positive Fisher syndrome with elevated tau protein in cerebrospinal fluid.	Kusunoki Susumu	神経内科
J Neurol	Late-onset Alexander disease with a V87L mutation in glial fibrillary acidic protein (GFAP) and calcifying lesions in the sub-cortex and cortex.	Suzuki Hidekazu	神経内科
J Neurol Sci	A novel mutation in the calcium channel gene in a family with hypokalemic periodic paralysis.	Hirano Makito	神経内科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neuroimmunol	Four cases of anti-ganglioside antibody-positive neuralgic amyotrophy with good response to intravenous immunoglobulin infusion therapy.	Miyamoto Katsuichi	神経内科
J Neuroimmunol	Antibodies to LMI and LMI-containing ganglioside complexes in Guillain-Barré syndrome and chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	Kawahara Motoi	神経内科
Glycobiology	Anti-GM1/GD1a complex antibodies in GBS sera specifically recognize the hybrid dimer of GM1-GD1a.	Kusunoki Susumu	神経内科
Eur J Neurol	A case of anti-N-methyl-D-aspartate receptor encephalitis with systemic sclerosis.	Suzuki Hidekazu	神経内科
Mov Disord	Risks of inappropriate secretion of antidiuretic hormone in multiple system atrophy.	Samukawa Makoto	神経内科
J Neuroimmunol	Campylobacter jejuni DNA-binding protein from starved cells in Guillain-Barré syndrome patients.	Kusunoki Susumu	神経内科
Clin Exp Neuroimmunol	Neuropathophysiological potential of Guillain-Barré syndrome anti-ganglioside-complex antibodies at mouse motor nerve terminals.	Kusunoki Susumu	神経内科
内科	興味ある経過をたどり抗ガングリオシド複合体抗体のみが陽性であったFisher症候群.	楠 進	神経内科
日本内科学会雑誌	抗GD1b抗体陽性で治療経過良好であった純粋運動型Guillain-Barré症候群の1例.	楠 進	神経内科
臨床神経学	免疫療法が有効であった腫瘍非合併抗NMDA受容体脳炎の2例.	北田菜里	神経内科
臨床神経学	Rituximabにより早期の治療効果がみとめられた抗myelin-associated glycoprotein (MAG) 抗体をともなうニューロパチーの1例.	鈴木聖子	神経内科
茨城県立病院医学雑誌	免疫グロブリン大量静注療法が奏効したフォスファチジン酸添加(ELISA法)による抗ガングリオシド抗体陽性Guillain-Barré症候群の幼児.	楠 進	神経内科
精神科19巻1号 Page60-65 (2011. 07)	Brain Science 自殺の脳画像研究	辻井農彦, 明石浩幸, 左海真介, 切目栄司, 坪倉知生, 西口直希, 白川治	医学部精神神経科
臨床精神薬理 14 巻 12 号 Page1975-1981 (2011. 12)	興奮性の症状にaripiprazoleが奏効した小児期の広汎性発達障害の6症例	辻井農彦, 明石浩幸, 左海真介, 三川和歌子, 白川治	医学部精神神経科
Journal of Diabetes Investigation	Prolonged Hyperinsulinemia After Subcutaneous Injection of 2400 U Regular Insulin in a Suicide Attempt: Time Course of Serum Insulin with Frequent Measurements	廣峰 雅久	内分泌・代謝 ・糖尿病内科
Journal of Diabetes Investigation	Class II HLA genotype in fulminant type 1 diabetes: A nationwide survey with reference to glutamic acid decarboxylase antibodies	池上 博司 *筆頭者: 堤千春 (大阪医科大学 糖尿病代謝・内分泌内科)	内分泌・代謝 ・糖尿病内科
Nature Genetics	Meta-analysis of genome-wide association studies identifies eight new loci for type 2 diabetes in east Asians	池上 博司 *筆頭者: Yoon Shin Cho (国立衛生 研究所)	内分泌・代謝 ・糖尿病内科
Journal of Diabetes Investigation	Genetics and Pathogenesis of Type 1 Diabetes: Prospects for Prevention and Intervention	池上 博司	内分泌・代謝 ・糖尿病内科
Diabetologia	Association of Genetic Variation in FTO with Risk of Obesity and Type 2 Diabetes with Data from 96,551 East and South Asians	池上 博司 *筆頭者: H. Li (中国科学院上海 生命科学研究院)	内分泌・代謝 ・糖尿病内科

小計

## (様式第11)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetes/Metabolism Research and Reviews	Analysis of the HLA and Non-HLA Susceptibility Loci in Japanese Type 1 Diabetes	池上 博司 *筆頭者：山下高都（埼玉医科大学医学部内分泌・糖尿病内科）	内分泌・代謝 ・糖尿病内科
PLoS ONE	Attenuated Food Anticipatory Activity and Abnormal Circadian Locomotor Rhythms in Rgs16 Knockdown Mice	池上 博司 *筆頭者：早坂直人（近畿大学医学部解剖学）	内分泌・代謝 ・糖尿病内科
Diabetes Care	Type 1 Diabetes and Interferon Therapy	池上 博司 *筆頭者：中村寛（長崎大学病院第一内科）	内分泌・代謝 ・糖尿病内科
平成22年度～23年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）総合研究報告書「多施設共同研究：劇症1型糖尿病の診断マーカー同定と診断基準確立に関する研究」	分担研究報告書「劇症1型糖尿病の疾患感受性遺伝子解析と診断への展開」	池上 博司	内分泌・代謝 ・糖尿病内科
Biotherapy	難治性泌尿器癌に対するペプチドワクチン療法 治療の現状と今後の展望	植村天受、南 高文 吉村一宏他	泌尿器科
Prostate	A phase I study of personalized peptide vaccination using 14 kinds of vaccine in combination with low-dose estramustine in HLA-A24-positive patients with castration-resistant prostate cancer.	Noguchi M, Uemura H, Naito S, Akaza H, Yamada A, Itoh K	泌尿器科
Cancer Biol Ther.	Assessment of immunological biomarkers in patients with advanced cancer treated by personalized peptide vaccination.	Noguchi M, Mine T, Komatsu N, Suekane S, Moriya F, Matsuoka K, Yutani S, Shichijo S, Yamada A, Toh U, Kawano K, Azuma K, Uemura H, Okuno K.	泌尿器科
Cancer Sci.	Immunological evaluation of personalized peptide vaccination monotherapy in patients with castration-resistant prostate cancer.	Uemura H, Fujimoto K, Mine T, Uejima S, de Velasco MA, Hirao Y, Komatsu N, Yamada A, Itoh K	泌尿器科
J. Clin. Oncol.	Phase I/II study of individualized peptide vaccines for HLA-A2/24 positive patients with hormone-refractory prostate cancer.	Uemura H, Minami T., Tanaka M. et al.	泌尿器科
World J. Urol.	Tumor vaccines in renal cell carcinoma.	Uemura H and Velasco MA	泌尿器科
Cancer Immunol. Immunother.	Identification of SART3-derived peptides having the potential to induce cancer-reactive cytotoxic T lymphocytes from prostate cancer patients with HLA-A3 supertype alleles	Minami T, Uemura H, Itoh K, Harada M. et al.	泌尿器科
Strahlenther Onkol 187: 401-405, 2011	Randomized clinical trial of postoperative Strontium-90 radiation therapy for pterygia treatment using 30 Gy/3 fractions vs. 40 Gy/4 fractions.	Nakamatsu K, Nishimura Y, Kanamori S, Koike R, Tachibana I, Nishikawa T, Shibata T.	放射線腫瘍学
J Radiat Res 52:516-521, 2011	Radiation therapy in patients with implanted cardiac pacemakers and implantable cardioverter defibrillators: a prospective survey in Japan.	Soejima T, Yoden E, Nishimura Y, et al.	放射線腫瘍学
Lung Cancer: Targets and Therapy 2: 59-67, 2011	Nimotuzumab, a novel monoclonal antibody to the epidermal growth factor receptor, in the treatment of non-small cell lung cancer.	Takeda M, Okamoto I, Nishimura Y, Nakagawa K.	放射線腫瘍学
J Thoracic Oncol 6: 2069-2075, 2011	S-1 plus cisplatin with concurrent radiotherapy for locally advanced non-small cell lung cancer: a multi-institutional phase II trial (West Japan Thoracic Oncology Group 3706).	Ichinose Y, Seto T, Sasaki T, Nishimura Y, et al.	放射線腫瘍学
Lung cancer 72:199-204, 2011	Single-agent gefitinib with concurrent radiotherapy for locally advanced non-small cell lung cancer harboring mutations of the epidermal growth factor receptor.	Okamoto I, Takahashi T, Okamoto H, Nakagawa K, Nishimura Y, et al.	放射線腫瘍学
Int J Radiat Oncol Biol Phys 80:111-118, 2011	Intraoperative radiotherapy for unresectable pancreatic cancer: a multi-institutional retrospective analysis of 144 patients.	Ogawa K, Karasawa K, Ito Y, Nishimura Y, et al.	放射線腫瘍学
PLoS ONE 6	Attenuated Food Anticipatory Activity and Abnormal Circadian Locomotor Rhythms in Rgs16 Knockdown Mice	Hayasaka N	解剖学
J Magn Reson Imaging	Optimal scanning protocol of arterial dominant phase for hypervascular hepatocellular carcinoma with gadolinium-ethoxybenzyl diethylenetriamine pentaacetic acid-enhanced MR	Kagawa Y	放射線診断学部門

小計

19



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
ACTA Radiol	Unenhanced fat fraction ratios obtained by MR and enhanced T2* values with liver-specific MR contrast agents for diagnosis of nonalcoholic steatohepatitis in rats	Okada M	放射線診断学部門
Dement Geriatr Cogn Disord Extra	Brain Alterations and Mini-Mental State Examination in Patients with Progressive Supranuclear Palsy: Voxel-Based Investigations Using 18F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography and Magnetic Resonance Imaging	Takahashi R	放射線診断学部門
Cardiovascular imaging	Quantitative myocardial perfusion analysis using multi-row detector CT in acute myocardial infarction	Nakauchi Y	循環器内科
Anesthesia 21 Century	静脈麻酔薬の作用機序：受容体と細胞シグナル伝達機構	中尾 慎一	麻酔科学
臨床麻酔	脳虚血における脳白質障害と高血糖	中尾 慎一	麻酔科学
Anesthesia Network	麻酔科医に薦めたい本	中尾 慎一	麻酔科学
ペインクリニック	痛みと長期増強	中尾 慎一	麻酔科学
泌尿器ケア	泌尿器科手術で用いる麻酔の基本	中尾 慎一	麻酔科学
臨床と研究	脊髄電気刺激療法	森本 昌宏	麻酔科学
ペインクリニック	St. Jude Medical社製のGenesis Eon Mini と刺激電種	森本 昌宏	麻酔科学
Journal of Anesthesia	Antinociceptive action of carbamazepine on thermal hypersensitive pain at spinal level in a rat model of adjuvant-induced chronic inflammation.	岩元辰憲, 高杉嘉弘, 東野英明, 伊藤浩行, 古賀義久, 中尾慎一	麻酔科学
Acta Medica Kinki University	脊髄神経結核損傷モデルラットにおけるガバベンチンの脊髄での鎮痛作用と下行性疼痛促進効果	数田浩一, 高杉嘉弘, 田淵正樹, 水口信行, 古賀義久, 東野英明, 中尾慎一	麻酔科学
Acta Medica Kinki University	A suspected case of anaphylaxis due to adrenocorticosteroids	岩元辰憲, 森本昌宏, 森本充男, 白井 達, 宇野洋史, 上原圭司, 中尾慎一	麻酔科学
Int J Hematol.	Clinical utility of the neutrophil distribution pattern obtained using the CELL-DYN SAPHIRE hematology analyzer for the diagnosis of myelodysplastic syndrome	上裕 俊法	臨床検査医学
Hepato Res.	Dietary fish oil regulates gene expression of cholesterol and bile acid transporters in mice.	上裕 俊法	臨床検査医学
医学と薬学	アクセスEPOによるエリスロポイエチン測定と血球算定検査値との比較検討	上裕 俊法	臨床検査医学
日本臨床微生物雑誌	Streptococcus gallolyticus subsp. pasteurianusによる新生児細菌性髄膜炎の1例	上裕 俊法	臨床検査医学
J. Stroke Cerebrovasc. Dis.	Prevention of intracranial hemorrhage. III Intracranial cerebral hemorrhage. In Japanese Guidelines for the Management of Stroke.	大槻 俊輔	脳卒中センター

## (様式第11)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Hypertens Res.	Blood pressure variability and prognosis in acute ischemic stroke with vascular compression on the rostral ventrolateral medulla (RVLM).	大槻 俊輔	脳卒中センター
Geriatr Gerontol Int	Cancer-associated ischemic stroke is associated with elevated D-dimer and fibrin degradation product levels in acute ischemic stroke with advanced cancer.	大槻 俊輔	脳卒中センター
Epilepsy Res	Altered extrafocal lomazenil activity in mesial temporal lobe epilepsy	加藤 天美	脳神経外科
Epilepsy Res	High-frequency oscillations on scalp EEG predicting the epileptogenic zone in symptomatic West syndrome.	加藤 天美	脳神経外科
J Clin NeuroSci	Spinal syringomyelia following subarachnoid hemorrhage.	中西 欣弥	脳神経外科
Brain Dev	Long-term developmental outcome in patients with West syndrome after epilepsy surgery.	加藤 天美	脳神経外科
ISRN Neurology	Computed Three-Dimensional Atlas of Subthalamic Nucleus and Its Adjacent Structures for Deep Brain Stimulation in Parkinson's Disease.	中野 直樹	脳神経外科
J Clin Neurosci	Spinal syringomyelia following subarachnoid hemorrhage.	中西 欣弥	脳神経外科
大阪てんかん研究会雑誌	難治性スパズムに対し左大脳半球機能的離断術が有効であった症候性West症候群の1例.	加藤 天美	脳神経外科
IEEJ Trans SM (Tokyo)	Development of in situ imaging probe for surgical operation of deep brain stimulation	加藤 天美	脳神経外科
J Neurosurg	Slower growth of skull base meningiomas compared with non-skull base meningiomas based on volumetric and biological studies.	加藤 天美	脳神経外科
Adv Orthop	Hemiparesis caused by cervical spontaneous spinal epidural hematoma; Report of 3 cases.	中西 欣弥	脳神経外科
J Clin Neurosci	Slower growth of skull base meningiomas compared with non-skull base meningiomas based on volumetric and biological studies.	眞田 孝皓	脳神経外科
Skull Base	Microsurgical Maneuvers under Side-Viewing Endoscope in the Treatment of Skull Base Lesions.	加藤 天美	脳神経外科
脳神経外科速報	悪性の病態と治療法の選択	内山 卓也	脳神経外科
Diagnostic Techniques and Surgical Management of Brain Tumors	Surgical technique for metastatic brain tumors	奥田 武司	脳神経外科
Journal of Clinical Neuroscience	Fluorescence-guided surgery for glioblastoma multiforme using high-dose fluorescein sodium with excitation and barrier filters	奥田 武司	脳神経外科
日本心臓血管外科学会雑誌	著名な胸郭変形を伴うMarfan症候群における大動脈弁置換術後弁周囲逆流に対する 基部置換術の1例	西野貴子	心臓血管外科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
胸外科	術後早期に気管切開を要する開心術に対する胸骨下部部分切開の応用	金田敏夫	心臓血管外科
Journal of Virology	Natural killer cells recognize friend retrovirus-infected erythroid progenitor cells through NKGD2D-RAE-1 interactions In Vivo.	Tatsuya Ogawa	Department of Cardiovascular Surgery
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Usefulness of a partial median sternotomy for acute infectious endocarditis in patients with tracheostoma.	Toshio Kaneda	Department of Cardiovascular Surgery
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Successful closure of a patent ductus arteriosus using an aortic stent graft.	Kosuke Fujii	Department of Cardiovascular Surgery
Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery	Congestive heart failure due to coral reef thoracoabdominal aorta.	Takuma Satsu	Department of Cardiovascular Surgery
Current Pharmaceutical Biotechnology13:1439-1445, 2012	Recent advances in active specific cancer vaccine treatment for colorectal cancer.	Okuno K Sugiura F et al	外科 下部消化管
日本外科学会誌37	進行・再発大腸癌に対するペプチドワクチン+UFT/LV併用療法	奥野清隆 杉浦史哲 他	外科 下部消化管
Hepato-Gastroenterol58 1598-1602, 2011	Prognostic factors in gastrointestinal perforation.	Okuno K Horiuchi T et al	外科 下部消化管
Experimental and Therapeutic Medicine2 (1) :73-79, 2011	Phase I clinical trial of a novel peptide vaccine in combination with UFT/LV for metastatic colorectal cancer.	Okuno K Sugiura F et al	外科 下部消化管
Asian Pacific Journal of Cancer Prevention12:1-4, 2011	Efficacy of orally administered Lentinula edodes Mycelia extract for advanced gastrointestinal cancer patients undergoing cancer chemotherapy:a pilot study.	Okuno K Uno K et al	外科 下部消化管
日本臨床69 (増刊号3) 574-578, 2011	大腸癌の免疫療法：大腸癌？最新の研究動向。	奥野清隆	外科 下部消化管
Biotherapy25 (6) : 845-850, 2011	わが国の癌ワクチン療法の克服すべき課題：がん治療用ワクチン療法FDAガイダンスを軸に。	奥野清隆	外科 下部消化管
癌と化学療法38 (12) : 1906-1908, 2011	StageⅢ大腸癌におけるがんペプチドワクチンとUFT/LV併用による術後補助療法 (HLA-Key Pen法)。	奥野清隆 杉浦史哲 他	外科 下部消化管
腫瘍内科8 (5) : 405-408, 2011	ゲノム解析による腫瘍抗原の同定。	奥野清隆	外科 下部消化管
Journal of surgical Oncology 2012 ; 105:43-47	Safety of intraperitoneal administration of paclitaxel aftergastrectomy with en-bloc D2 Lymph node dissection.	Imano M Imamoto H et al	外科 上部消化管
Eur Surg Res. 2011 ; 47 (4) :254-9 Equib 2011 nov4.	Impact of intraperitoneal chemotherapy after gastrectomy with positive cytological findings in peritoneal washings.	Imano M Imamoto H et al	外科 上部消化管
総合臨床	急性肺炎の病因と病態	中多靖幸 竹山宜典	外科 肝胆膵
肝胆膵	急性肺炎の栄養療法	竹山宜典	外科 肝胆膵

小計

## (様式第11)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
INTENSIVIST	急性膵炎における栄養療法	竹山宣典	外科 肝胆膵
肝胆膵画像	重症急性膵炎の特殊療法	竹山宣典	外科 肝胆膵
救急・集中治療	重症膵炎	竹山宣典	外科 肝胆膵
Osteoporosis Jpn	大腿骨評価ツールの比較検討 (Hip Structure AnalysisとFRAX)	池田光正	整形外科
臨床スポーツ医学	特集 アスリートの肘損傷一病態と治療方針-III. スポーツにおける肘脱臼の病態と治療 1. 肘関節靭帯損傷に対する手術的治療	大谷和裕	整形外科
中部整災誌	膝牽引性骨軟骨炎に離断性骨軟骨炎 (OCD) 様の変化を合併した一例	墳本一郎	整形外科
J Spine Res	慢性腰痛と体幹筋 (コルセット筋) の筋力低下	浜西千秋	整形外科
中部整災誌	骨病変をきっかけとして診断を得た悪性リンパ腫12例の検討	西村俊司	整形外科
中部整災誌	膝関節感染症治療におけるセメントスパーサーの抗菌薬徐放期間	朝田滋貴	整形外科
新薬と臨床	ロキソプロフェンナトリウム水和物含有塗布剤 (ロキソニンゲル1%) の有用性及び使用感に関する患者調査-ジクロフェナクナトリウム1%含有ゲル状軟膏剤での効果不十分例における検討-	丹 彰浩	整形外科
中部整災誌	高齢者頸椎症性脊髄症の背景と術後成績	池田光正	整形外科
バイオマテリアル -生体材料-	特集 抗菌性・抗感染症バイオマテリアル 整形外科領域での感染	浜西千秋	整形外科
日本肘関節学会雑誌	肘部管症候群に対する尺骨神経皮下前方移動術の成績	大谷和裕	整形外科
第14回Vitamin K & Aging研究会記録集	大腿骨骨折リスク評価ツールの検討 (ucocとFRAX、大腿骨骨密度)	池田光正	整形外科
Hip Joint	臼蓋嚢形成術の長期成績と進行変形性股関節症に対する可能性について	西坂文章	整形外科
Peripheral Nerve	高齢者の腕神経叢損傷に対する神経交差縫合術の経験	大谷和裕	整形外科
日本骨・関節感染症学会雑誌	手部骨関節感染症に対する抗菌薬加セメントの使用	大谷和裕	整形外科
中部整災誌	大腿骨骨折術後40年経過した大腿gossypibomaの1例	丹 彰浩	整形外科
中部整災誌	腰部脊柱管狭窄症患者における保存治療の各分類別での効果	池田光正	整形外科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Med J Kinki Univ	強制走行負荷による非侵襲性マウス変形性関節症モデルの作成	橋本和彦	整形外科
日関病誌	感染人工股関節置換術における治療選択 一期的再置換術と二期的再	西坂文章	整形外科
大阪臨床整形外科医会雑誌	膝関節外科：この10年の進歩	赤木将男	整形外科
医学と薬学	膝関節顆部骨壊死症	赤木将男	整形外科
静岡県整形外科医学雑誌	人工膝関節のトータルマネジメント	赤木将男	整形外科
Bone Joint Nerve	特集：変形性膝関節症をめぐる進歩変形性関節症の治療：現状と展	赤木将男	整形外科
Bone Joint Nerve	特集：変形性膝関節症をめぐる進歩片側置換方人工膝関節置換術の	赤木将男	整形外科
J Dermatol 2011; 38: 91-93	Dermoscopic features in a case of dyschromatosis symmetrica h	<u>Qiso N</u> , Murata I, Hayashi M, Amatsu A, <u>Yoshida M</u> , Suzuki T, <u>Kawada A</u>	皮膚科
Pediatr Dermatol 2011; 28: 66-68	Clinical, dermoscopic and histopathologic features in a case of infantile hemangioma without proliferation.	<u>Qiso N</u> , Kimura M, <u>Kawara S</u> , <u>Kawada A</u>	皮膚科
Case Rep Dermatol 2011; 3: 42-48	The transient effectiveness of an oral 5-fluorouracil derivative S-1 for epirubicin, cyclophosphamide and paclitaxel refractory skin metastases from possible occult breast cancer in a male.	<u>Hiran A</u> , <u>Qiso N</u> , Tsurutani J, Kimura M, Watatani M, Nakagawa K, <u>Kawada A</u>	皮膚科
皮膚病診療 2011; 33: 229-232	爪 峽 部 領 域 の 爪 甲 形 成 異 常 - 腹 側 翼 状 爪 -	大磯直毅、成田智彦、鶴田大輔、川田 暁	皮膚科
皮膚の科学 2011; 10: 63-66	肛 門 管 癌 の 皮 膚 転 移 の 1 例	和田珠恵、吉田益喜、吉永英司、大磯直毅、川原 繁、川田 暁	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol 2011; 25: 491-492	Melanocytic nevi in nevus depigmentosus in a region of the body exposed to sunlight.	<u>Qiso N</u> , <u>Kawada A</u>	皮膚科

小計

## (様式第11)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Allergy 2011, 2011: 169432	Review of allergic and photoallergic contact dermatitis from an ingredient in a medicament vehicle consisting of a compress, poultice, plaster and tape.	Oiso N, Kawada A	皮膚科
Case Rep Dermatol 2011; 3: 94-97	Dermoscopy for tick bite: reconfirmation of the usefulness for the initial diagnosis.	Matsuda M, Oiso N, Yano Y, Kawada A	皮膚科
J Dermatol 2011; 38: 585-587	Disseminated superficial actinic porokeratosis in a patient with a long-term narrow-band UVB for psoriasis.	Kawara S, Oiso N, Kawada A	皮膚科
Int J Dermatol 2011; 50: 795-797	Hyperpigmented spots within and partly around a hypopigmented macule.	Oiso N, Amatsu A, Kawada A	皮膚科
Eur J Dermatol 2011; 21: 439-440	The dermoscopic features in disseminated superficial actinic porokeratosis.	Oiso N, Kawada A	皮膚科
Eur J Dermatol 2011; 21: 441	Dermoscopy of pyogenic granuloma on the lip: the differing appearances of vascular structures with and without pressure.	Oiso N, Kawada A	皮膚科
皮膚の科学 2011; 10: 159-163	全身性エリテマトーデス患者にみられた皮膚クリプトコッカス症の1例	東森倫子, 吉田益喜, 大磯直毅, 川原 整, 川田 暁	皮膚科
Eur J Dermatol 2011; 21: 446-447	Two children with a mild or moderate piebaldism phenotype and a father with no leukoderma in a family with the same recurrent missense mutation in the kinase domain of KIT.	Narita I, Oiso N, Fukai K, Motokawa T, Hayashi M, Yokoyama K, Hozumi Y, Kawada A, Suzuki T	皮膚科
香粧会誌 2011; 35: 89-92	Skin typing, sun exposure, and sunscreen use in a population of Japanese females using an online interview.	Kawada A, Sasaya H, Hiran A, Wada I, Oiso N, Ishihara K	皮膚科
Dermatol Res Pract 2011; 2011: 518090	Non-segmental vitiligo and autoimmune mechanism.	Oiso N, Suzuki T, Fukai K, Katayama I, Kawada A	皮膚科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Invest Dermatol 2011; 131: 1869-1876	Consequences of two different amino acid substitutions at the same codon in KRT14 indicate definitive roles of structural distortion in epidermolysis bullosa simplex pathogenesis.	Natsuga K, Nishie W, Smith BJ, Shinkuma S, Smith TA, Parry DAD, <u>Qiso N</u> , <u>Kawada A</u> , Yoneda K, Akiyama M, Shimizu H	皮膚科
Case Rep Dermatol 2011; 3: 155-157	Preoperative assessment using magnetic resonance imaging for subungual exostosis beneath the proximal region of the nail plate.	<u>Higuchi K</u> , <u>Qiso N</u> , <u>Yoshida M</u> , <u>Kawada A</u>	皮膚科
Eur J Dermatol 2011; 21: 636-638	Superimposed linear graft-versus-host disease and secondary cutaneous involvement of anaplastic large cell lymphoma.	<u>Qiso N</u> , Tatsumi Y, Rai S, Matsumura I, <u>Kawada A</u>	皮膚科
Eur J Dermatol 2011; 21: 639-640	The diagnostic usefulness of dermoscopy for nevus depigmentosus.	<u>Qiso N</u> , <u>Kawada A</u>	皮膚科
Pediatr Dermatol 2011; 28: 591-593	The dermoscopic features in infantile hemangioma.	<u>Qiso N</u> , <u>Kawada A</u>	皮膚科
J Dermatol 2011; 38: 1019-1021	Skin ulcer mimicking pyoderma gangrenosum in a patient with incontinentia pigmenti.	<u>Yoshida M</u> , <u>Qiso N</u> , Kimura M, Itoh T, <u>Kawada A</u>	皮膚科
J Dermatol Sci 2011; 64: 147-149	Repigmentation of leukoderma of piebald patient associated with a novel mutation, G592E of tyrosine kinase domain within the c-kit gene.	Arase N, Wataya-Kaneda M, <u>Qiso N</u> , Tanemura A, <u>Kawada A</u> , Suzuki T, Katayama I	皮膚科
Acta Derm Venereol 2011; 91: 737-740	A dermoscopic figure of polymorphous atypical vessels with color gradation: a quiz.	<u>Qiso N</u> , Kimura M, <u>Kawada A</u>	皮膚科
Dermatol Ther 2011; 24: 584-586	Clinical effectiveness of intense pulsed light therapy for solar lentigines of the hands.	<u>Sasaya H</u> , <u>Kawada A</u> , <u>Wada T</u> , <u>Hirao A</u> , <u>Qiso N</u>	皮膚科
Allergol Int 2011; 60: 505-508	Generalized vitiligo and associated autoimmune diseases in Japanese patients and their families.	<u>Narita T</u> , <u>Qiso N</u> , Fukai K, Kabashima K, <u>Kawada A</u> , Suzuki T	皮膚科
Am J Dermatopathol 2011; 33: 841-844	The histopathological feature of the nail isthmus in an ectopic nail.	<u>Qiso N</u> , Kurokawa I, Tsuruta O, <u>Narita T</u> , Chikugo T, Tsubura A, Kimura M, Baran R, <u>Kawada A</u>	皮膚科
日本皮膚外科学会誌 15 (2): 120-121, 2011	耳介からの composite graft による鼻再建	吉田益喜	皮膚科

小計

## (様式第11)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Visual Dermatology 10 (8): 790-793, 2011	ターゲット型光線療法の適応疾患と副作用	川田 暁	皮膚科
Visual Dermatology 10 (9): 926-927, 2011	ポートワイン母斑のレーザー治療	川田 暁	皮膚科
Anti-Aging Medicine 8 (6): 88-91, 2011	Protection and therapy of photoaging	Kawda A	皮膚科
皮膚臨床 54 (1): 91-94, 2012	線状IgA水疱症の1例	石橋淳子	皮膚科
J Invest Dermatol 132 (2): 315-323, 2012	N-(Carboxymethyl)lysine modification of elastin alters its biological properties: implications for the accumulation of abnormal elastic fibers in actinic elastosis	Yoshinaga E	皮膚科
Photomedicine and Laser Surgery 30 (2): 107-111, 2012	Efficacy and Safety of a Low-energy Double-pass 1450-nm Diode Laser for the Treatment of Acne Scars	Wada T	皮膚科
Eur J Dermatol 22 (1): 153-154, 2012	Coexisting pustular and ulcerative pyoderma gangrenosum	Nakano S	皮膚科
Case Reports in Dermatology 4: 47-49, 2012	Cellulitis with leukocytopenia as an initial sign of acute promyelotic leukemia	Sakamoto S	皮膚科
Skin Surgery	手背部老人性色素斑に対するIPLの治療効果	吉田益喜, 川原繁, 川田暁	皮膚科
Am J Physiol Cell Physiol 2011	Vascular smooth muscle insulin resistance, but not hypertrophic signaling, is independent of Angiotensin II - induced IRS-1 phosphorylation by JNK	谷山 佳弘	腎臓内科
Biochem Biophys Res Commun. 2012 Jan 13;417(2):836-41. Epub 2011 Dec 20.	Mechanical stimulation of cyclic tensile strain induces reduction of pluripotent related gene expressions via activation of Rho/ROCK and subsequent decreasing of AKT phosphorylation in human induced pluripotent stem cells.	Teramura T	高度先端総合医療センター・再生医療部
Stem Cells Dev. 2012 May 20;21(8):1239-49. Epub 2011 Oct 18.	Reduced oxygen concentration enhances conversion of embryonic stem cells to epiblast stem cells.	Takehara T	高度先端総合医療センター・再生医療部
Inflamm Res. 2012 Jun 12. [Epub ahead of print]	Cyclic compression-induced p38 activation and subsequent MMP13 expression requires Rho/ROCK activity in bovine cartilage explants.	Koichi Nakagawa, Takeshi Teramu	整形外科 高度先端総合医療センター・再生医療部
臨床婦人科産科 ISSN 0386-9865 (Print) ISSN 1882-1294 (Online) 65巻6号(2011.06) P.791-795 (ISID:1409102699)	生殖医学・医療のトピックス iPS細胞と生殖医療	寺村 岳士	高度先端総合医療センター・再生医療部

小計



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床婦人科産科 ISSN 0386-9865 (Print) ISSN 1882-1294 (Online) 66巻7号 (2012. 06) P. 565-570	加齢対策基礎研究幹細胞を用いた卵子の再生	寺村 岳士	高度先端総合医療センター・再生医療部
Cell Transplant. 2012 in press	Induction of Functional Mesenchymal Stem Cells from Rabbit Embryonic Stem Cells by Exposure to Severe Hypoxic Conditions	Teramura T,	高度先端総合医療センター・再生医療部
骨折	安定型骨盤骨折における骨盤造影CT撮影の検討	瀧口 満英	救命救急センター
今日の救急治療指針第2版	酸・アルカリ中毒 (強酸・フッ化水素・シュウ酸・アルカリ)	村尾 佳則	救命救急センター
救急医学	脗・十二指腸外傷	村尾 佳則	救命救急センター
救急・集中治療	(腹部外傷の治療) 手術-救命救急センターでの診療イメージ	村尾 佳則	救命救急センター
Lung Cancer.	Single-agent gefitinib with concurrent radiotherapy for locally advanced non-small cell lung cancer harboring mutations of the epidermal growth factor receptor.	Okamoto I, Takahashi T, Okamoto H, Nakagawa K, et al.	腫瘍内科
Lung Cancer.	Thymidylate synthase and dihydropyrimidine dehydrogenase expression levels are associated with response to S-1 plus carboplatin in advanced non-small cell lung cancer.	Takeda M, Okamoto I, Hirabayashi N, Kitano M, Nakagawa K	腫瘍内科
Biochem Biophys Res Commun.	Switching addictions between HER2 and FGFR2 in HER2-positive breast tumor cells: FGFR2 as a potential target for salvage after lapatinib failure.	Azuma K, Tsurutani J, Sakai K, Kaneda H, et al.	腫瘍内科
British Journal of Cancer	Thymidylate synthase as a determinant of pemetrexed sensitivity in non-small cell lung cancer.	Takezawa K, Okamoto I, Okamoto W, Takeda M, Sakai K, et al.	腫瘍内科
Clinical Cancer Research	Role of ERK-BIM and STAT3-survivin signaling pathways in ALK inhibitor-induced apoptosis in EML4-ALK-positive lung cancer.	Takezawa K, Okamoto I, Nishio K, Janne P, Nakagawa K	腫瘍内科
British Journal of Cancer	Differential roles of STAT3 depending on the mechanism of STAT3 activation in gastric cancer cells.	Okamoto W, Okamoto I, Yanagihara K, Nakagawa K, et al.	腫瘍内科
Journal of Clinical Oncology	Human epidermal growth factor eyedrops for cetuximab-related filamentary keratitis.	Kawakami H, Sugioka K, Yonesaka K, Satoh T, Shimomura Y, Nakagawa K	腫瘍内科

## (様式第11)

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Clin Med Insights Oncol	Gemcitabine: efficacy in the treatment of advanced stage nonsquamous non-small cell lung cancer.	Hayashi H, Kurata T, Nakagawa K	腫瘍内科
Oncogene	Roles of BIM induction and survivin down-regulation in lapatinib-induced apoptosis in breast cancer cells with HER2 amplification.	Tanizaki J, Okamoto I, Fumita S, Okamoto W, Nishio K, Nakagawa K	腫瘍内科
British Journal of Cancer	Differential roles of trans-phosphorylated EGFR, HER2, HER3, and RET as heterodimerisation partners of MET in lung cancer with MET amplification.	Tanizaki J, Okamoto I, Sakai K, Nakagawa K	腫瘍内科
Journal of Thoracic Oncology	MET Tyrosine Kinase Inhibitor Crizotinib (PF-02341066) Shows Differential Antitumor Effects in Non-small Cell Lung Cancer According to MET Alterations.	Tanizaki J, Okamoto I, Okamoto K	腫瘍内科
Br J Cancer.	Activin A inhibits vascular endothelial cell growth and suppresses tumour angiogenesis in gastric cancer.	Kaneda H, Arai T, Matsumoto K, Okamoto I, Nakagawa K, Nishio K et al.	腫瘍内科
Anticancer Res.	Prospective study evaluating the plasma concentrations of twenty-six cytokines and response to morphine treatment in cancer patients.	Makimura C, Arai T, Matsuoka H, Takeda M, Nakagawa K, et al.	腫瘍内科
Invest New Drugs.	Feasibility study of two schedules of sunitinib in combination with pemetrexed in patients with advanced solid tumors.	Okamoto I, Shimizu T, Miyazaki M, Tsurutani J, Nakagawa K et al.	腫瘍内科
Invest New Drugs	Perirenal hematoma associated with bevacizumab treatment.	Hayashi H, Okamoto I, Nakagawa K	腫瘍内科
J Thorac Oncol.	Association of the Expression of Mutant Epidermal Growth Factor Receptor Protein as Determined with Mutation-Specific Antibodies in Non-small Cell Lung Cancer with Progression-Free Survival after Gefitinib Treatment.	Azuma K, Okamoto I, Kawahara A, Taira T, Nakagawa K, et al.	腫瘍内科
J Thorac Oncol.	Phase I Clinical Study of the Angiogenesis Inhibitor TSU-68 Combined with Carboplatin and Paclitaxel in Chemotherapy-Naive Patients with Advanced Non-small Cell Lung Cancer.	Okamoto I, Yoshioka H, Takeda K, Nakagawa K et al.	腫瘍内科
Clin Lung Cancer	Successful Long-Term Treatment With Pemetrexed of NSCLC Associated With EML4-ALK and Low Thymidylate Synthase Expression.	Takeda M, Okamoto I, Sakai K, Tanaka K, Terashima M, Nishio K, Nakagawa K	腫瘍内科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Mol Cancer Ther.	Overcoming erlotinib resistance in EGFR mutation-positive non-small cell lung cancer cells by targeting survivin.	Okamoto K, Okamoto I, Kuwata K, Yamaguchi H, Nakagawa K et al.	腫瘍内科
Br J Cancer.	Combined effect of ALK and MEK inhibitors in EML4-ALK-positive non-small-cell lung cancer cells.	Tanizaki J, Okamoto I, Takezawa K, Nishio K, Janne PA, Nakagawa K et al.	腫瘍内科
PLoS One.	SRPX2 is a novel chondroitin sulfate proteoglycan that is overexpressed in gastrointestinal cancer.	Tanaka K, Arai T, Tamura D, Okamoto I, Nakagawa K, Nishio K et al.	腫瘍内科
Oncol Rep.	Expression changes in arrestin $\beta$ 1 and genetic variation in catechol-O-methyltransferase are biomarkers for the response to morphine treatment in cancer patients.	Matsuoka H, Arai T, Makimura C, Tanaka K, Nishio K, Nakagawa K et al.	腫瘍内科
J Thorac Oncol.	Pharmacokinetics of docetaxel in a patient with non-small cell lung cancer undergoing continuous ambulatory peritoneal dialysis.	Kaneda H, Okamoto I, Nakagawa K	腫瘍内科
Acta Oncol.	Marked response to both S-1 and pemetrexed in a patient with echinoderm microtubule-associated protein-like 4-anaplastic lymphoma kinase-positive lung adenocarcinoma.	Kaneda H, Okamoto I, Sakai K, Tanizaki J, Takeda M, Nishio K, Nakagawa K	腫瘍内科
Invest New Drugs	Reversible posterior leukoencephalopathy syndrome and trastuzumab.	Kaneda H, Okamoto I, Satoh T, Nakagawa K	腫瘍内科
Invest New Drugs	Safety and pharmacokinetic study of nab-paclitaxel plus carboplatin in chemotherapy-naïve patients with advanced non-small cell lung cancer.	Okamoto I, Yamamoto N, Nakagawa K et al.	腫瘍内科
Ann Oncol.	Postprogression survival for first-line chemotherapy of patients with advanced non-small-cell lung cancer.	Hayashi H, Okamoto I, Morita S, Taguri M, Nakagawa K	腫瘍内科
Breast Cancer.	Phase II study of bi-weekly irinotecan for patients with previously treated HER2-negative metastatic breast cancer: XMB0610B.	Hayashi H, Tsurutani J, Satoh T, Sakamoto J, Nakayama T, Nakagawa K et al.	腫瘍内科
Lung Cancer.	A phase I/II study of carboplatin plus gemcitabine for elderly patients with advanced non-small cell lung cancer: West Japan Thoracic Oncology Group Trial (WJTOG) 2905.	Kurata T, Hirashima T, Iwamoto Y, Kotani Y, Nakagawa K, Fukuoka M et al.	腫瘍内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 工藤 正俊
管理担当者氏名	病院事務部長代理 橋本 克己

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		患者支援センター・医療支援課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	職員課	
	高度の医療の実績	医事業務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事管理課	
	高度の医療の研修の実績	医事管理課	
	閲覧実績	医療支援課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事業務課・患者支援センター	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事業務課・薬剤部	
	項規 第一 第一 号に 掲げ る十 一第 一制 の確 保各 号の 及び 第九 条の 二十 三第 一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全対策室	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理 及び諸記録 のび 運す 録	規則第一条の十一 第一項各号及び第九 条の二十三第一項 第一号に掲げる体 制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理室 及び 院内ホームページ		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び  
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 工藤 正俊
閲覧担当者氏名	病院事務部長代理 橋本 克己
閲覧の求めに応じる場所	病院棟 2階相談室・閲覧室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	83.7 %	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	26,658人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,934人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	3,064人	
	D: 初診の患者の数	38,430人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・ 指針の主な内容： 1. 総則 2. 安全管理委員会 3. 安全管理部 4. リスクマネージャー 5. 報告等にもとづく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 6. 安全管理のためのマニュアル整備 7. 医療安全管理のための研修 8. 事故発生時の対応 9. 患者相談窓口 10. その他	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 26 回
・ 活動の主な内容：  別添資料「1」	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 17 回
・ 研修の主な内容：  別添資料「2」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：  リスクマネージャー会議等を通じて全職員へ周知するとともに、院内LANに掲載し周知を図り、改善策の徹底を図っている。また、安全管理研修参加状況の個人識別化を実施している。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・ 所属職員： 専任 ( 1 ) 名 兼任 ( 10 ) 名  ・ 活動の主な内容：  別添資料「1」	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	有 ・ 無

② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 活動の主な内容

1. 安全管理部の報告を受け、医療安全管理の検討及び研究に関すること
2. 医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに委員会によって立案された防止対策及び改善策の実施状況の調査及び見直しに関すること
3. 医療安全管理のために行う職員に対する指示に関すること
4. 医療安全管理のために行う院長等に対する提言に関すること
5. 医療安全管理のための啓発、教育、広報及び出版に関すること
6. 医療訴訟に関すること
7. その他医療安全に関すること

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 活動の主な内容

(業務)

第4条 医療安全対策室においては、次の各号にあげる業務を行う。

(2) 医療安全に関する日常活動に関すること。

1. 定期的に医療安全対策室会議を開催し、必要事項を管理委員会に勧告する。
2. 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査。
3. 定期的な現場の巡回・点検、マニュアルの遵守状況の点検
4. マニュアルの作成及び点検並びに見直しの提言等
5. アクシデント・インシデントレポートの収集、保管、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果の管理、具体的な改善策の提案・推進とその評価
6. 医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知
7. 医療安全に関する職員への啓発、広報
8. 医療安全に関する職員研修の企画、立案、運営
9. 医療安全対策ネットワーク整備事業に関する報告、とりわけ「軽微な処置・治療を要した事例または影響の認められなかった事例のなかで警鐘的意義が大きいと医療機関が考える事例」の選定
10. 必要に応じてリスクマネージャー会議を招集する。
11. 医療安全管理に係る連絡調整



医療安全管理研修実施状況（平成23年度実績） 資料「2」

	開催年月日	研 修 会 名	参加者数	DVD	備 考
実 績	1	H23. 4. 20 安全管理研修 「災害時の対応セミナー」	1196		
	2	H23. 5. 9, 6. 16, 6. 17, 10. 7, 12. 8 中心静脈穿刺手技講習会	133		
	3	H23. 5. 25 安全管理研修 「法医学現場からみた虐待の実際」	1141		
	4	H23. 7. 8, 7. 12, 7. 21 医療ガス及び器具の安全点検講習会 医療ガスの取り扱いについて フィットフィックス（吸引）の取り扱いについて	330		
	5	H23. 7. 22 安全管理研修 狭山危機管理セミナー 「チーム医療におけるノンテクニカルスキルの重要性」	768	114	
	6	H23. 9. 21, 9. 26 安全管理研修 近大病院および病院付近で大災害が発生したら・・・ トリアージとアクションカードについて 当院における防災対策	905	61	
	7	H23. 10. 24, 10. 28 NPPV（非侵襲的陽圧換気療法）研修会	218		
	8	H24. 1. 11 安全管理研修 薬剤部・中央放射線部	454		
	9	H24. 2. 7 安全管理研修 医療訴訟ガイダンス	362		
	10				
	計			5682	

その他研修

H23. 6. 24, H24. 2. 23	医療機器安全管理研修 人工呼吸器	68
---------------------------	---------------------	----

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：</li> <li>1. 院内感染防止対策に関する基本的考え方</li> <li>2. 院内感染防止対策の組織の概要</li> <li>3. 感染防止対策に関する職員研修</li> <li>4. 感染症発症状況の報告とその経路に関する基本方針</li> <li>5. 感染症情報の院内への提供と広報</li> <li>6. 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>7. 患者などへの情報提供と説明</li> <li>8. 地域連携</li> <li>9. 院外への情報公開</li> <li>10. その他の院内感染防止対策</li> </ul>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：</li> <li>a. 院内感染防止対策の指針およびマニュアルの作成と改訂</li> <li>b. 院内感染防止対策に関する情報の収集と職員への周知</li> <li>c. 院内感染防止に関する職員研修の企画</li> <li>d. 院内感染が疑われる事例等の原因究明結果と対策を職員に周知する</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> <li>別添資料</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> </ul> <p>定期、および臨時のICTラウンド、ICTニュース、院内感染防止対策委員会、各ICTメンバーの参加している委員会、研修 などを通じ、院内感染発症防止、院内感染対策の情報を発信して、啓発を繰り返し行っている。</p>	

## 院内感染防止対策研修実施状況（平成23年度実績）

（別添資料）

	開催年月日	研 修 テ ー マ	参加者数	講 演 者
1, 2	H23年4月27日	<b>第1・2回 近大感染制御セミナー</b> 「標準予防策 手指衛生を中心に」 「当院における針刺し等、汚染事故の実態」 「感染経路別予防策」	1122	安全管理部感染対策室ICT看護師 吉田理香 中央臨床検査部 中江健市 安全管理部感染対策室長ICT医師 宮良高維
3, 4	H23年5月20日	<b>第3・4回 近大感染制御セミナー</b> 第1、2回と同内容	704	安全管理部感染対策室ICT看護師 吉田理香 中央臨床検査部 中江健市 安全管理部感染対策室長ICT医師 宮良高維
5	H23年6月21日	<b>第5回 近大感染制御セミナー</b> 「中央手術部における感染対策」 「外科の感染対策を中心に」	1096	看護部ICT看護師 田中加津美 安全管理部感染対策室長ICT医師 竹山宜典
6	H23年7月11日	<b>第6回 近大感染制御セミナー</b> 「抗菌薬適正使用に向けての基礎知識」 「当院の耐性菌検出状況と検査室での対応」 「救命救急センターでの感染対策」	672	ICT薬剤師 久斗章広 ICT検査技師 戸田宏司 救命救急センターICT医師 松島知秀
7	H23年8月3日	<b>第7回 近大感染制御特別講演</b> 「病院感染制御の新しい動き」 東京医療保険大学/大学院 感染制御学教授 大久保 憲先生	465	東京医療保険大学/大学院 感染制御学教授 大久保憲先生
8	H23年9月7日	<b>第8回 近大感染制御DVDセミナー</b> 「病院感染制御の新しい動き」 8月3日の大久保憲先生の講演をビデオにて上映	172	DVD
9	H23年9月29日	<b>第9回 近大感染制御DVDセミナー</b> 「病院感染制御の新しい動き」 8月3日の大久保憲先生の講演をビデオにて上映	125	DVD
10	H24年1月23日	<b>第10回 近大感染制御セミナー</b> 「抗菌薬適正使用について」 「結核について」 「感染性胃腸炎について」	463	ICT薬剤師 久斗章広 呼吸器内科ICT医師 佐野博幸 安全管理部感染対策室ICT看護師 吉田理香
11	H2311月1日～ H24年1月31日	<b>第11回 手洗いキャンペーン</b> 全職員対象手洗い演習と評価の実施	1581	
	計		6400	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	1年 1回
・ 研修の主な内容： 1. 内服薬・外用薬・・・安全への取り組み 2. 要注意薬剤の取り扱いについて 3. 麻薬管理 Q&A	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： 業務手順書に関するチェックリストに従い、確認作業を実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 医薬品情報は、電子カルテシステムのメール機能を活用 2. 医薬品有害事象情報収集のため、電子カルテシステムを活用 3. 緊急安全性情報が発生した場合、医師・患者の調査にYUYAMAシステムを活用 4. 注射薬配合変化データの作成準備	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 48 回
・ 研修の主な内容： ①医療機器の有効性・安全性に関する事項 ②医療機器の使用方法に関する事項 ③医療機器の保守点検に関する事項 ④医療機器の不具合等が発生した場合の対応（施設内での報告、行政機関への報告等）に関する事項 ⑤医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の作成 <input checked="" type="radio"/> (有) ・ 無 ) ・ 保守点検の主な内容： ①人工心肺装置及び補助循環装置 ②人工呼吸器 ③血液浄化装置 ④除細動装置（自動体外式除細動器：AEDを除く） ⑤閉鎖式保育器	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="radio"/> (有) ・ 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器ホームページ作成により、情報提供及び情報の閲覧に関する利便性を向上し周知徹底を図っている。	